

青森県経済統計報告

平成15年11月27日

企画振興部統計情報課

1 青森県の推計人口（平成15年11月1日現在） 1

県人口	1,460,172人（対前月122人増加、対前年同月7,779人減少）
自然動態	53人減少（出生者数1,037人、死亡者数1,090人）
社会動態	175人増加（転入者数2,165人、転出者数1,990人）

2 本県の経済動向

（1）経済概況

本県経済の動向をみると、個人消費において乗用車新車登録・届出台数にプラスの動きがみられるが、なお依然として厳しい雇用情勢が続く中で、鉱工業生産指数や住宅建設の各指標においても前年同月を下回るなど低調な動きとなっており、全体として厳しい状況が続いている。

（2）主要経済指標の動向

- (2-1) 製造業の生産 平成15年9月の青森県鉱工業生産指数（平成12年=100）は、季節調整済指数が81.7で、前月比4.4%の低下となり、2ヶ月連続で前月を下回った。また、原指数は84.8で、前年同月比0.4%の低下となり、2ヶ月連続で前年同月を下回った。 ... 2
- (2-2) 雇用情勢 平成15年9月の現金給与総額は231,023円で前年同月比1.5%減となった。このうち、定期給与は228,942円で1.2%減となっている。総実労働時間では、159.4時間で前年同月比1.3%増となり、所定外労働時間も8.2時間で2.5%増となっている。 ... 3
- (2-3) 物価 平成15年10月の青森県消費者物価指数は、総合指数で99.6となり、前月比0.3%増となり、2ヶ月ぶりに前月を上回った。 ... 4
- (2-4) 個人消費 平成15年9月の大型小売店売上高は、全店舗ベースで前年同月比7.0%減の144億1千6百万円となり、既存店ベースでも前年同月比4.8%減といずれもマイナスとなった。平成15年9月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は4,499台で、前年同月比0.8%の増となり、6ヶ月ぶりに前年を上回った。 ... 5
- (2-5) 住宅建設 平成15年9月の新設住宅着工戸数は689戸で、持家が増加したが、貸家、分譲住宅等の減少により前年同月比35.9%減となり、8ヶ月連続前年を下回った。 ... 6

（3）景気動向指数（平成15年9月分） 7

先行指数	33.3%（2か月連続で50%を下回った）
一致指数	22.2%（2か月ぶりに50%を下回った）
遅行指数	28.6%（4か月連続で50%を下回った）

1 青森県の推計人口（平成15年11月1日現在）

【概況】

平成15年11月1日現在の本県推計人口は、1,460,172人で、前月に比べ122人増加し、前年同月に比べると7,779人減少となった。

○自然動態

出生者数が1,037人、死亡者数が1,090人で、53人の減少となった。

10月中の統計としては、自然増加数が過去（昭和41年以降。）最少となった。

○社会動態

転入者数が2,165人、転出者数が1,990人で、175人の増加となった。

総人口の推移

(単位：人)

	総数	対前月増減率		増減数	自然増減数	社会増減数		出生者数	死亡者数	社会増減数	県外からの転入者数	県外への転出者数
		男	女			出生者数	死亡者数					
平 2.10.1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-	-	-	-
7.10.1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-	-	-	-
12.10.1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-	-	-	-
14.11.1	1,467,951	698,001	769,950	0.002%	26	37	1,160	1,123	-11	1,978	1,989	
14.12.1	1,467,553	697,778	769,775	-0.027%	-398	-248	946	1,194	-150	1,345	1,495	
15.1.1	1,467,047	697,500	769,547	-0.034%	-506	-264	898	1,162	-242	1,370	1,612	
15.2.1	1,466,409	697,059	769,350	-0.043%	-638	-435	1,048	1,483	-203	1,460	1,663	
15.3.1	1,465,541	696,605	768,936	-0.059%	-868	-366	904	1,270	-502	1,374	1,876	
15.4.1	1,459,568	693,152	766,416	-0.408%	-5,973	-353	909	1,262	-5,620	4,746	10,366	
15.5.1	1,460,756	693,883	766,873	0.081%	1,188	-173	992	1,165	1,361	5,161	3,800	
15.6.1	1,460,557	693,699	766,858	-0.014%	-199	-165	999	1,164	-34	1,815	1,849	
15.7.1	1,460,426	693,599	766,827	-0.009%	-131	-53	992	1,045	-78	1,559	1,637	
15.8.1	1,460,013	693,336	766,677	-0.028%	-413	-49	1,069	1,118	-364	2,089	2,453	
15.9.1	1,460,389	693,613	766,776	0.026%	376	-75	1,000	1,075	451	2,639	2,188	
15.10.1	1,460,050	693,437	766,613	-0.023%	-339	-99	1,040	1,139	-240	1,842	2,082	
15.11.1	1,460,172	693,492	766,680	0.008%	122	-53	1,037	1,090	175	2,165	1,990	

10月中の人口動態の推移

(単位：人)

年月	平6.10	7.10	8.10	9.10	10.10	11.10	12.10	13.10	14.10	15.10	
自然動態	出生者数	1,184	1,165	1,192	1,233	1,093	1,034	1,169	1,233	1,160	1,037
	死亡者数	1,005	1,022	1,066	1,117	1,021	1,002	1,086	1,178	1,123	1,090
	自然増減数	179	143	126	116	72	32	83	55	37	-53
社会動態	県外からの転入者数	2,114	2,391	2,224	2,242	1,996	2,008	2,008	2,137	1,978	2,165
	県外への転出者数	1,741	1,753	1,867	1,801	1,672	1,635	1,675	1,833	1,989	1,990
	社会増減数	373	638	357	441	324	373	333	304	-11	175

※1 平成2、7、12年は国勢調査による数値。

※2 平成14年11月1日から平成15年11月1日までの人口は平成12年国勢調査人口（確定値）を基礎に推計している。

※3 増加数は、平成2、7、12年が前回、その他が前月に対するものである。

※4 算出方法 県の人口＝自然増減数（出生－死亡）＋社会増減数（県外転入－県外転出）

※5 これまで社会動態の算定には、県間移動数に加え県内市町村間移動数を含めていたが、県間移動数に修正を行った為、過去の公表数値と異なっている。

※6 県の人口には、県内市町村間の移動者数を含んでいない為、各市町村の推計人口の総数とは一致しない。

2 本県の経済動向

(2) 主要経済指標の動向

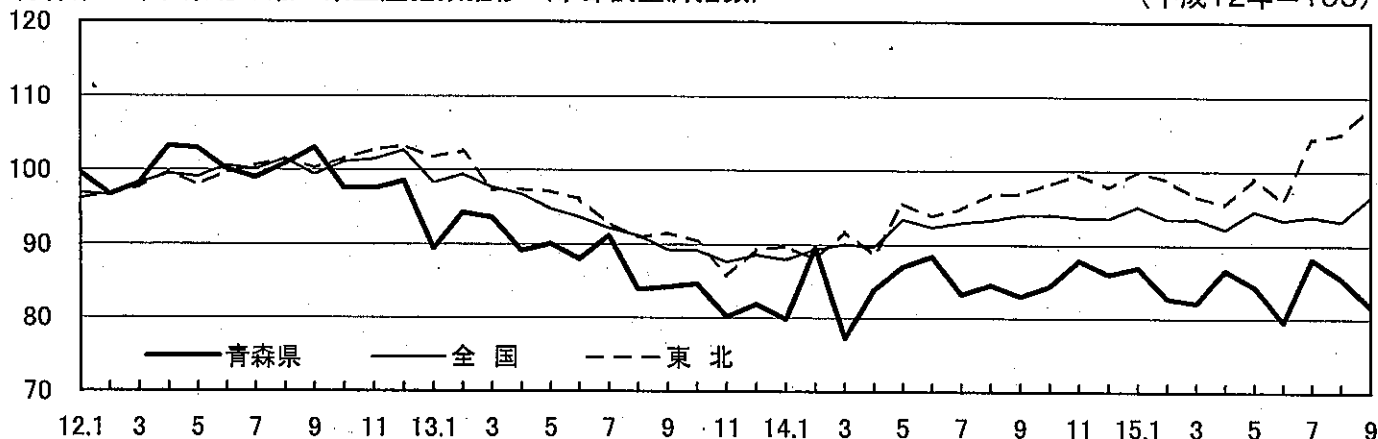
(2-1) 製造業の生産

平成15年9月の青森県鉱工業生産指数(平成12年=100)は、季節調整済指数が81.7で、前月比4.4%の低下となり、2ヶ月連続で前月を下回った。また、原指数は84.8で、前年同月比0.4%の低下となり、2ヶ月連続で前年同月を下回った。

季節調整済指数で前月からの動きをみると、電子部品・デバイス工業、パルプ・紙・紙加工品工業、食料品工業などが上昇に寄与した一方、化学工業、一般機械工業、金属製品工業などが低下し、鉱工業全体では4.4%の低下となった。

青森県・全国・東北の鉱工業生産指数推移(季節調整済指数)

(平成12年=100)

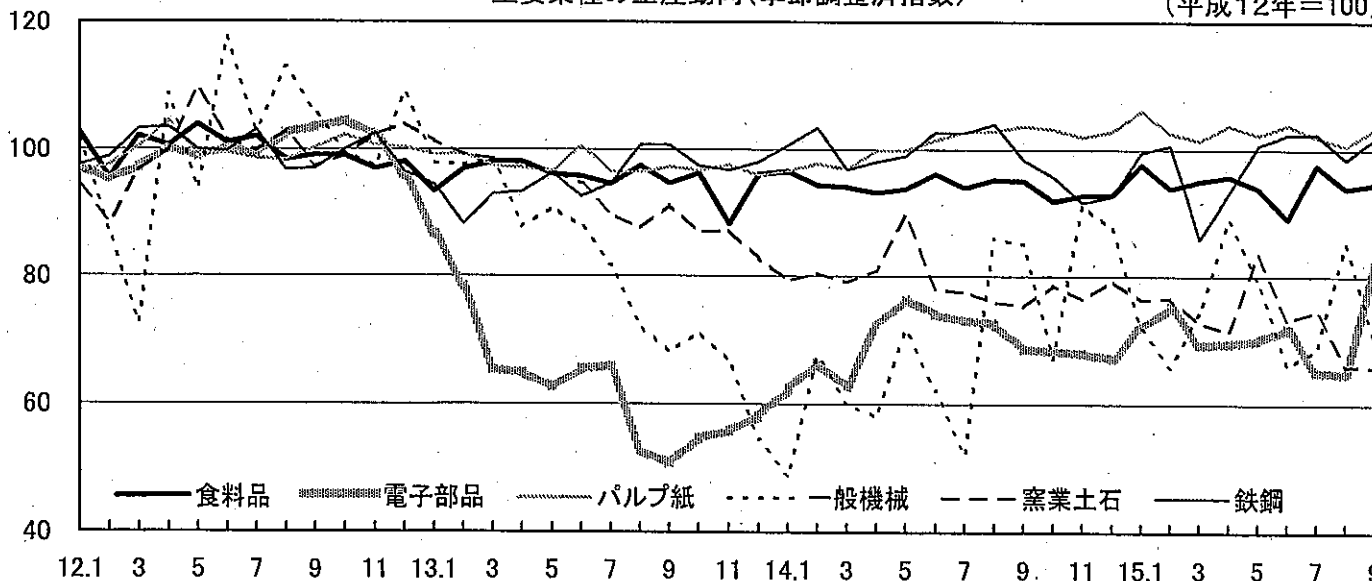


◎業種別動向(前月比)

プラス			マイナス		
業種	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
(鉱工業)				-4.4	-100.0
電子部品・デバイス工業	26.4	58.5	化学工業	-83.4	-118.3
パルプ・紙・紙加工品工業	2.8	6.7	一般機械工業	-18.5	-27.2
食料品工業	0.9	6.0	金属製品工業	-19.2	-20.0
鉄鋼業	3.7	5.5	繊維工業	-4.7	-4.7
情報通信機械工業	14.7	4.9	石油・石炭製品工業	-24.8	-4.6

主要業種の生産動向(季節調整済指数)

(平成12年=100)

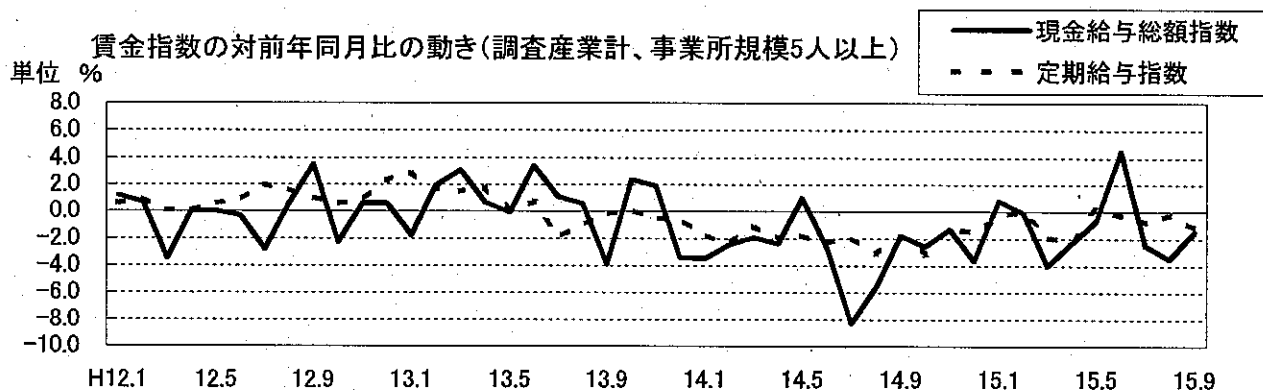


資料: 県統計情報課「青森県鉱工業生産指数(速報)」

(2-2) 雇用情勢

平成15年9月の現金給与総額は231,023円で現金給与総額指数（平成12年=100）では80.5となり、前年同月比1.5%減となった。このうち、定期給与は228,942円で定期給与指数では96.9となり、前年同月比1.2%減となった。実額で比較した定期給与の全国対比は81.9となった。

所定外労働時間は8.2時間で、所定外労働時間指数では95.3となり、前年同月比2.5%増となった。

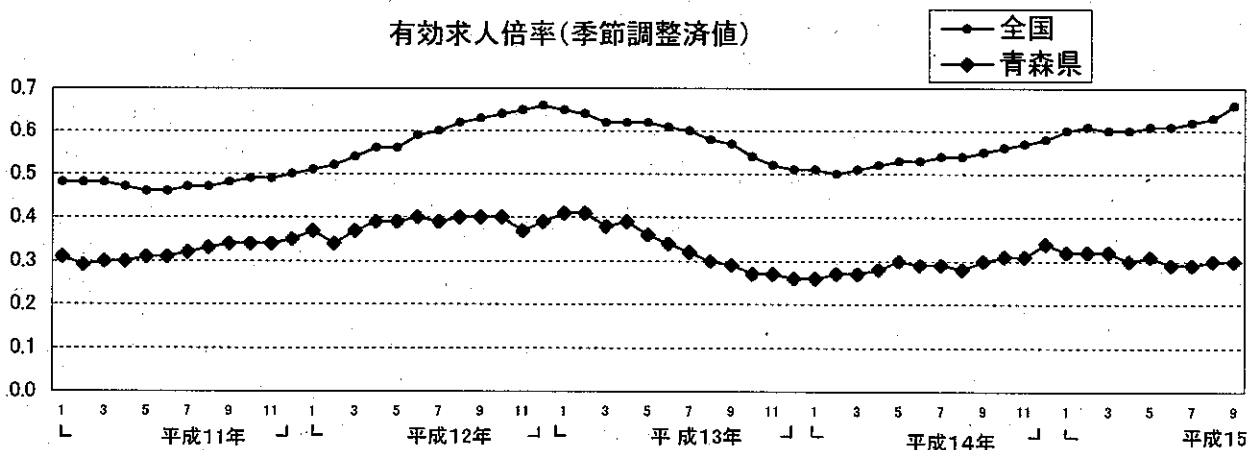


賃金及び労働時間の動き(調査産業計、事業所規模5人以上)

	実数		指数(H12=100)		対前年同月増減率	
	県	全国	県	全国	県	全国
現金給与総額	231,023 円	282,244 円	80.5	79.4	-1.5 %	0.4 %
定期給与	228,942 円	278,751 円	96.9	98.1	-1.2 %	0.3 %
特別給与	2,081 円	3,493 円	—	—	—	—
総実労働時間	159.4 時間	152.7 時間	100.5	98.8	1.3 %	0.7 %
所定内労働時間	151.2 時間	142.8 時間	100.7	98.7	1.2 %	0.6 %
所定外労働時間	8.2 時間	9.9 時間	95.3	100.0	2.5 %	3.1 %

(注)1.定期給与とは「きまって支給する給与」のことである。2.前年同月比は指数によって算出している。

資料:県統計情報課「毎月勤労統計調査結果(速報)」



資料:青森労働局職業安定部職業安定課

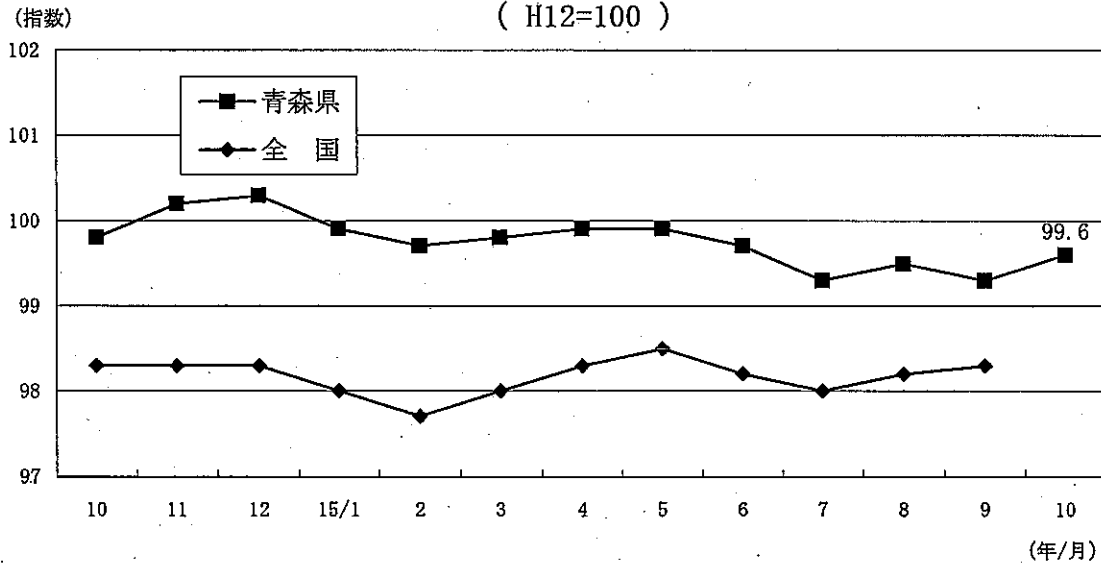
(2-3) 物価

平成15年10月の青森県消費者物価指数は、平成12年を100とした総合指数で99.6となり前月比0.3%増、前年同月比0.2%減となった。

前月指数と比較すると、「被服及び履き物」は冬物の衣料等、「家具・家事用品」は室内装備品(カーペット)、寝具類(布団、布団カバー等)、「食料」は穀類(うるち米等)の値上り等により上昇した。

「教養娯楽」は教養娯楽用サービス(英会話の月謝等)の値下り等により下落した。

月別総合指数
(H12=100)



10大費目別指数の動き

(平成12年=100)

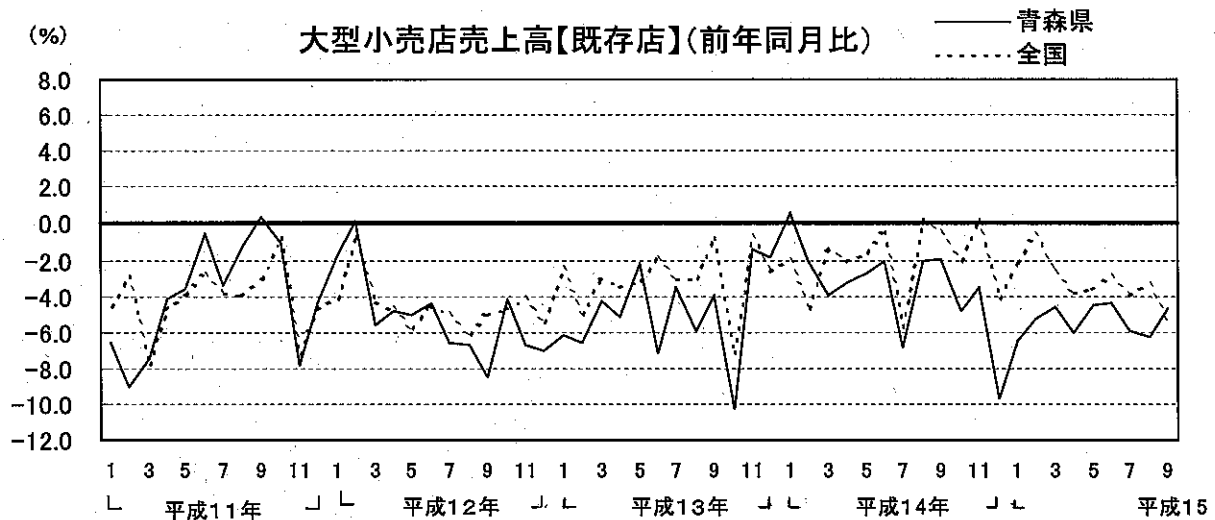
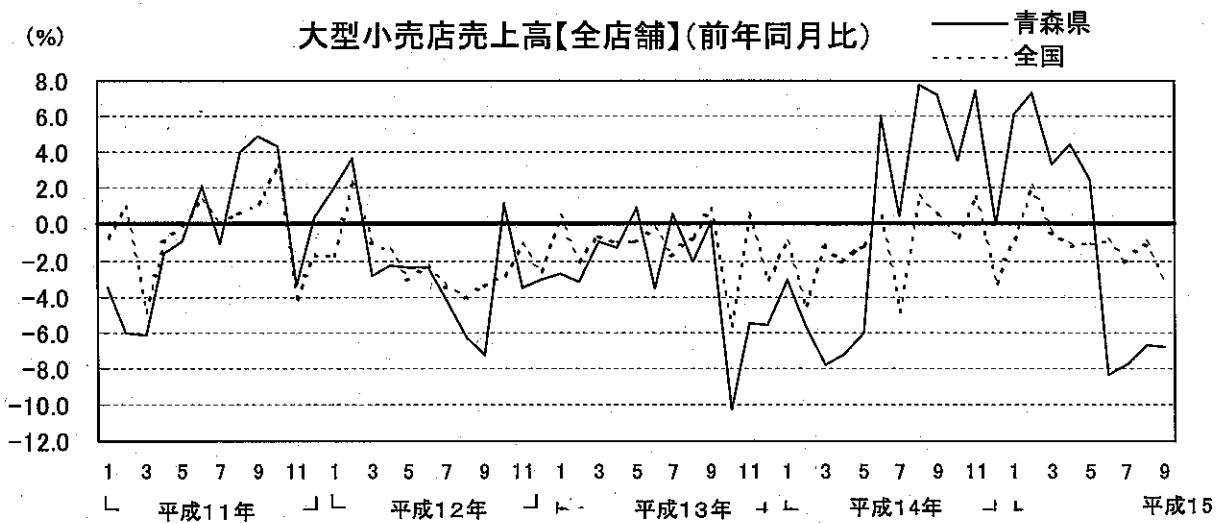
	総合	総合 (持ち家の 家賃を除く)	総合 (生鮮 食品を除く)	食料	生鮮 食品	住居	光熱・ 水道	家具 ・家事 用品	被服 及び 履き物	保健 医療	交通・ 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費
当月指数	99.6	98.4	100.0	99.4	91.9	104.9	99.9	93.1	97.1	107.8	96.8	100.3	91.6	103.7
前月比	0.3	0.3	0.3	0.5	▲ 1.0	0.1	0.0	0.8	1.3	0.0	0.0	0.0	▲ 0.2	0.2
前年同月比	▲ 0.2	0.0	▲ 0.2	0.1	▲ 0.9	▲ 1.5	2.7	▲ 2.1	▲ 2.4	3.2	▲ 0.3	▲ 4.6	▲ 0.7	4.1

資料：県統計情報課「青森県消費者物価指数月報」(速報)

(2-4) 個人消費

平成15年9月の大型小売店売上高は、全店舗ベースで前年同月比7.0%減の144億1千6百万円となり、既存店ベースでも前年同月比4.8%減と4ヶ月連続全店舗ベース、既存店ベースのいずれにおいてもマイナスとなった。内訳をみると、百貨店、スーパーとも衣料品、飲食料品等全ての部門で前年を下回った。

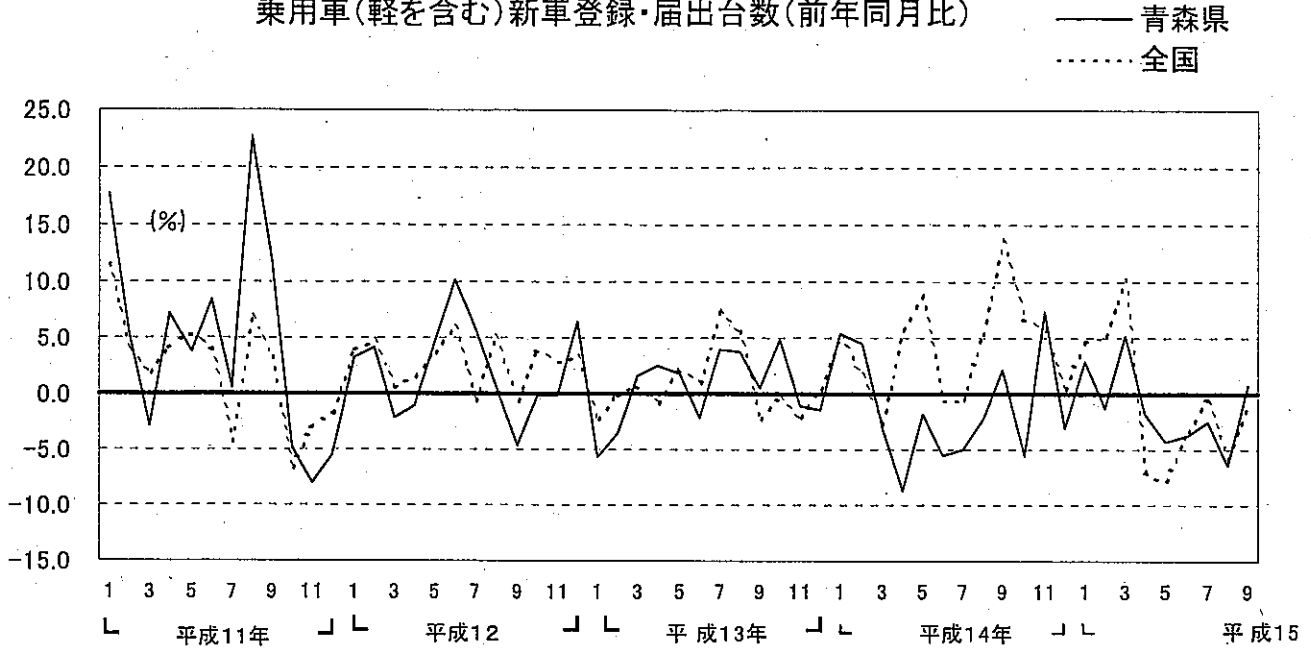
平成15年9月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は4,499台で、普通乗用車が増加し、小型乗用車及び軽自動車が増加したものの、全体としては前年同月比0.8%増となり、6ヶ月ぶりに前年を上回った。



資料：東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」

- * 大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メートル以上の商店をいう。そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。

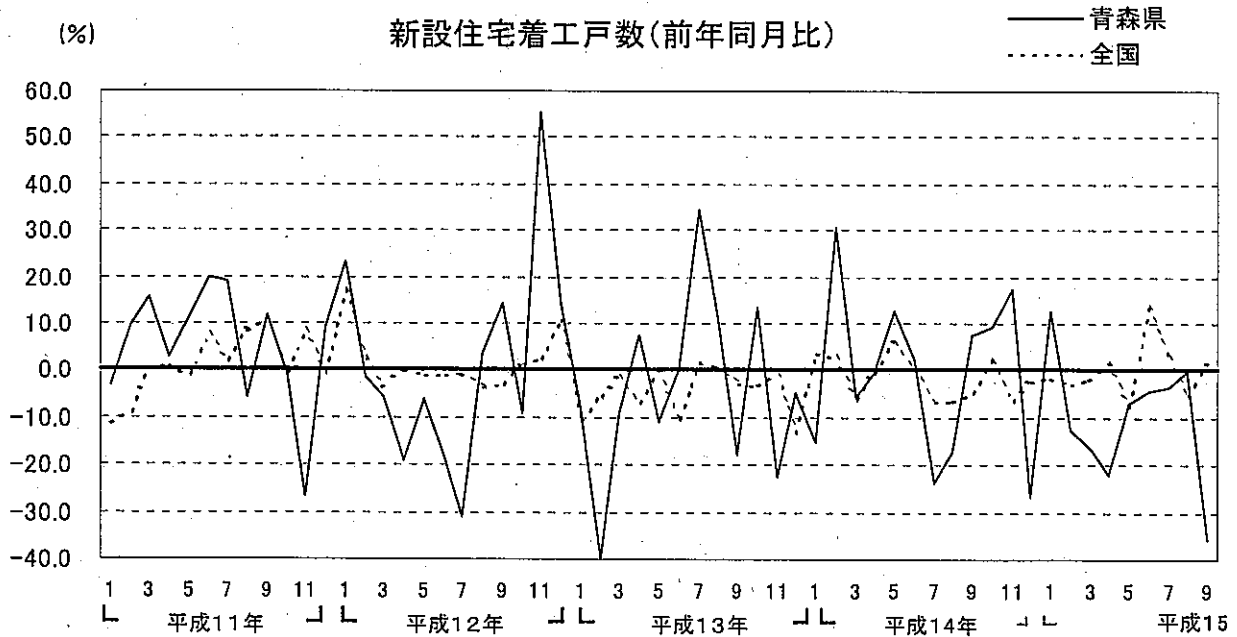
乗用車(軽を含む)新車登録・届出台数(前年同月比)



資料：青森県自動車会議所「車種別登録・届出台数」、
日本自動車販売協会連合会「自動車統計データ」

(2-5) 住宅建設

平成15年9月の県内新設住宅着工戸数は689戸で、持家が増加したが、貸家、分譲住宅等の減少により前年同月比35.9%減となり、8ヶ月連続前年を下回った。



資料：県建築住宅課「建築着工統計」、国土交通省「建設統計月報」

(3) 青森県景気動向指数

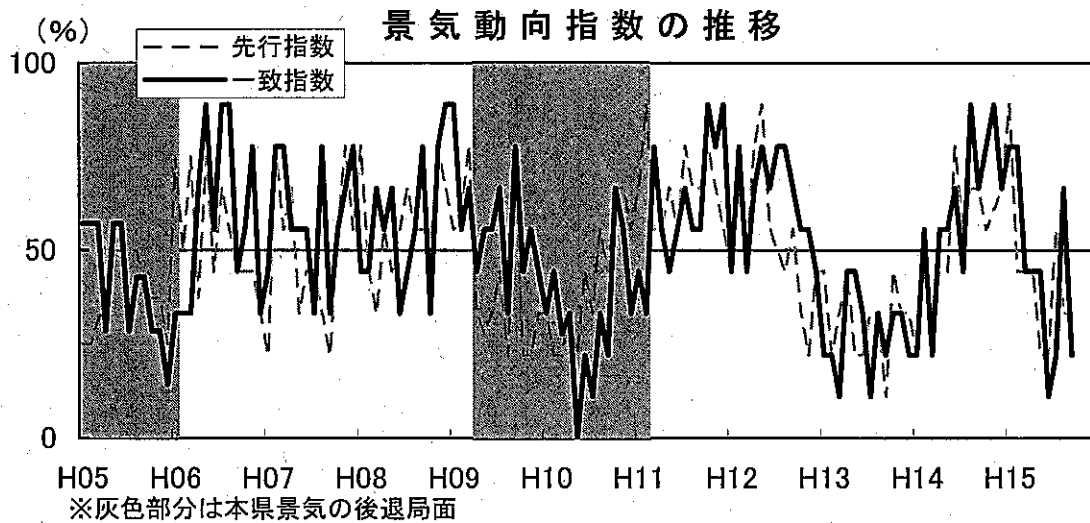
平成15年9月の青森県景気動向指数は、先行指数33.3%、一致指数22.2%、遅行指数28.6%となった。

先行指数は、2か月連続で50%を下回った。

一致指数は、2か月ぶりに50%を下回った。

遅行指数は、4か月連続で50%を下回った。

9月の一致指数は、雇用関連の指標等がマイナスとなったことから、50%を下回った。



●個別系列の動き (各指標は季節調整等を行い、5ヶ月前と比較しています)

プラスの指標		マイナスの指標	
先行系列 (9指標中6指標がマイナス)			
生産財生産指数	2か月ぶり	建築着工床面積 (鉱+商+サ)	5か月連続
所定外労働時間指数 (全産業)	6か月ぶり	入職率 (製造業)	2か月連続
乗用車新車登録届出台数	6か月ぶり	中小企業景況DI	2か月連続
		新設住宅着工戸数	2か月ぶり
		企業倒産負債額	3か月ぶり
		新規求人数 (常用)	6か月ぶり
一致系列 (9指標中7指標がマイナス)			
日銀券月中発行高	3か月連続	雇用保険基本手当初回受給者数	6か月連続
電気機械生産指数	2か月連続	東北自動車道IC利用台数	5か月連続
		大型小売店販売額 (実質)	4か月連続
		有効求人数 (常用)	2か月ぶり
		大口電力使用量	2か月ぶり
		海上出入貨物量 (八戸港)	2か月ぶり
		鉱工業生産指数	3か月ぶり
遅行系列 (7指標中5指標がマイナス)			
単位労働コスト (製造業)	2か月連続	消費者物価指数 (帰属家賃除く総合)	6か月連続
勤労者世帯家計消費支出 (実質)	2か月連続	信用保証申込金額	4か月連続
		常用雇用指数 (製造業)	3か月連続
		輸入通関実績 (八戸港)	2か月連続
		1人平均月間現金給与総額	2か月ぶり

資料：県統計情報課「青森県景気動向指数月報」